

＜令和8年熊本地震＞

直轄河川堤防の変状と復旧 (球磨川・白川・緑川)

地震発生からの河川堤防の復旧ステップ

STEP 1

地震発生直後

- 緊急点検
- 応急対策

地震発生直後より緊急点検、
応急対策を実施。



STEP 2

地震発生後 概ね10日

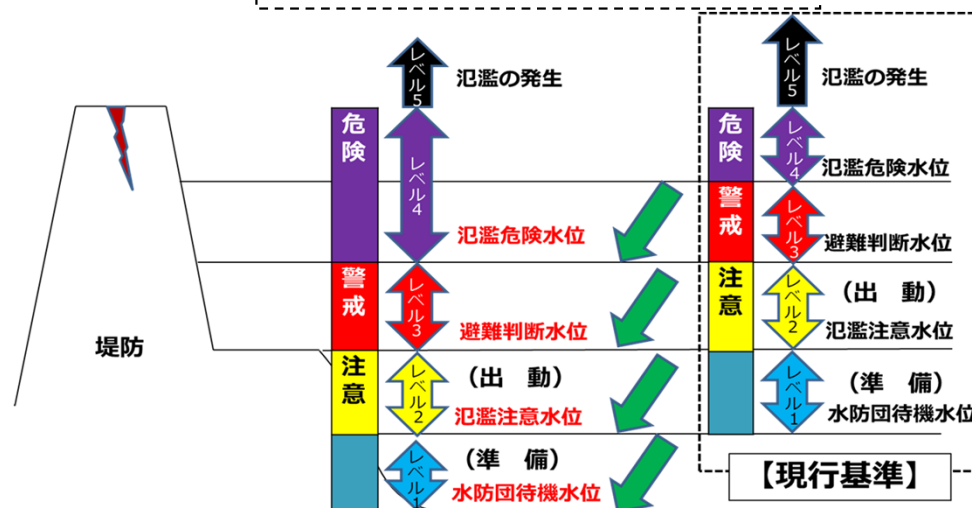
- 緊急復旧工事

8月7日までに全3箇所を完了。



- 早期警戒体制の構築

8月5日から暫定基準水位を運用開始。



基準水位の引き下げ(イメージ)

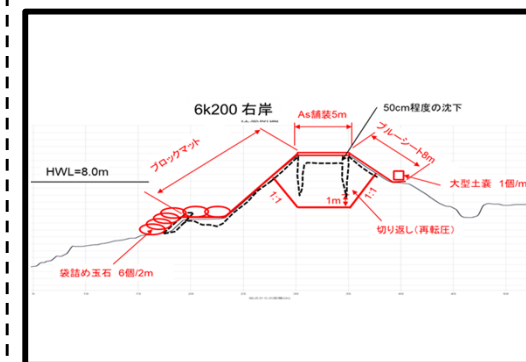
STEP 3

災害復旧採択後

- 本格的な復旧

令和9年梅雨期前までに復旧工事の
完了を目指す

緊急復旧工法



本復旧工法

球磨川堤防調査
委員会等で検討

応急対策 …… 軽微な被害が生じた堤防等の性能を一時的に回復するために行う簡易的な措置
緊急復旧工事 …… 堤防の機能を回復するための緊急的に行う復旧工事

直轄河川堤防の変状箇所（球磨川）

「令和8年熊本地震」 球磨川堤防等緊急点検結果(八代河川国道事務所管内 8月2日時点)

【河川管理施設変状状況】

球磨川水系 44箇所

球磨川右岸6k200～450付近



球磨川右岸8k000～8k040付近



八代市萩原町地先

八代市古麓町地先

八代市



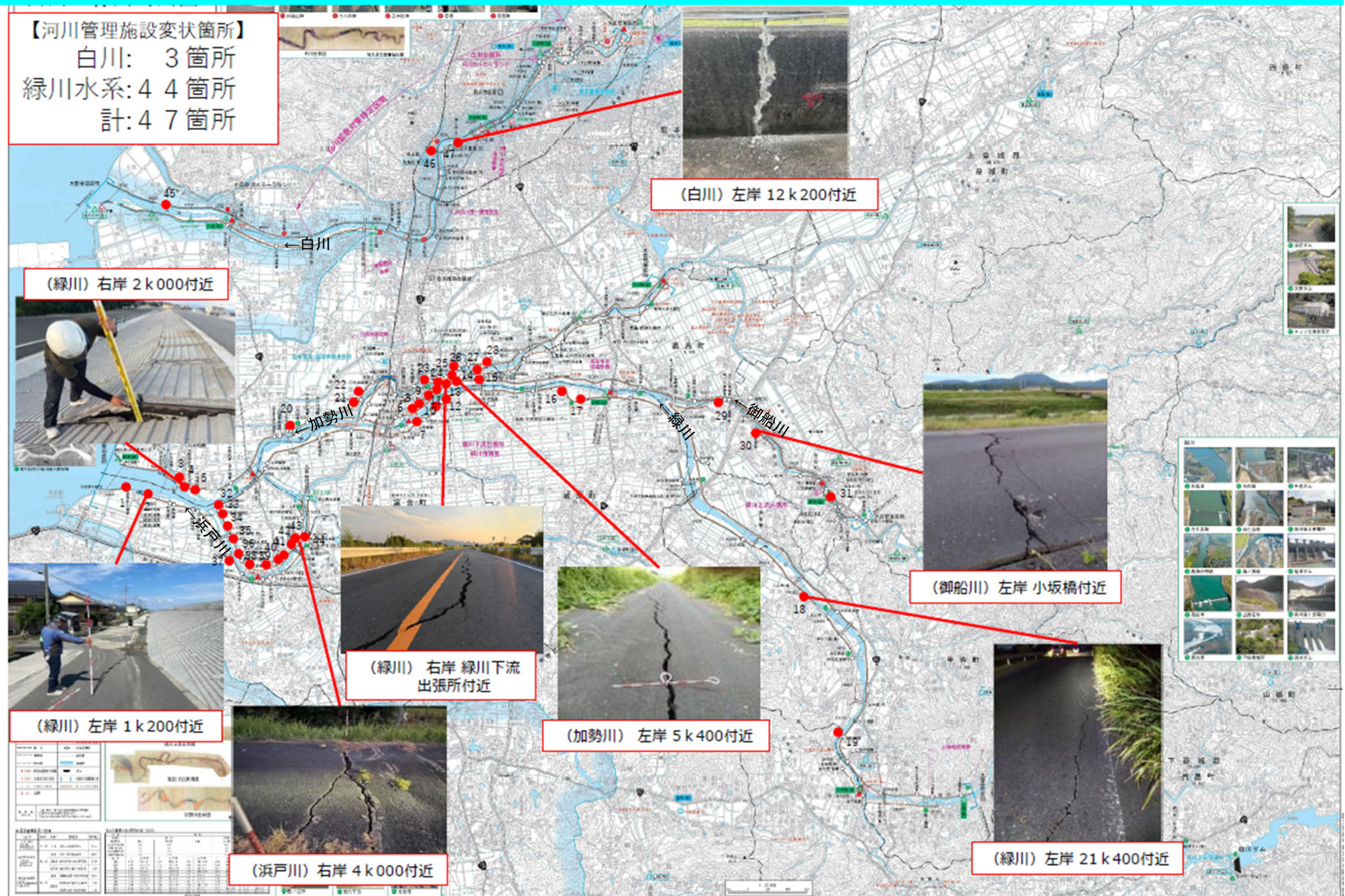
- 変状箇所
- 緊急的な復旧工事 箇所

球磨川左岸8k540～8k580付近



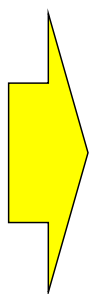
八代市渡町地先

「令和8年熊本地震」白川・緑川河川堤防等緊急点検結果（熊本河川国道事務所管内 7月30日 時点）



球磨川水系及び白川水系、緑川水系の91箇所の堤防等の被災のうち、比較的変状の小さな箇所については、ひび割れの補修などの応急対策を実施しました。

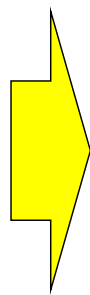
(球磨川 右岸7k200m : 八代市)



(緑川 右岸8k800m : 熊本市)



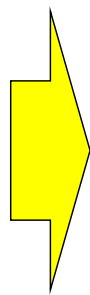
(球磨川 左岸6k800m : 八代市)



(白川 右岸10k800m : 熊本市)



(前川 左岸4k300m : 八代市)



(白川 左岸11k000m : 熊本市)



緊急復旧を概ね10日で達成

地震により比較的変状が大きかった3箇所について、24時間体制で緊急的な復旧工事を実施し、令和8年8月7日までに完了しました。

《緊急復旧前》7/28（球磨川右岸6k400）



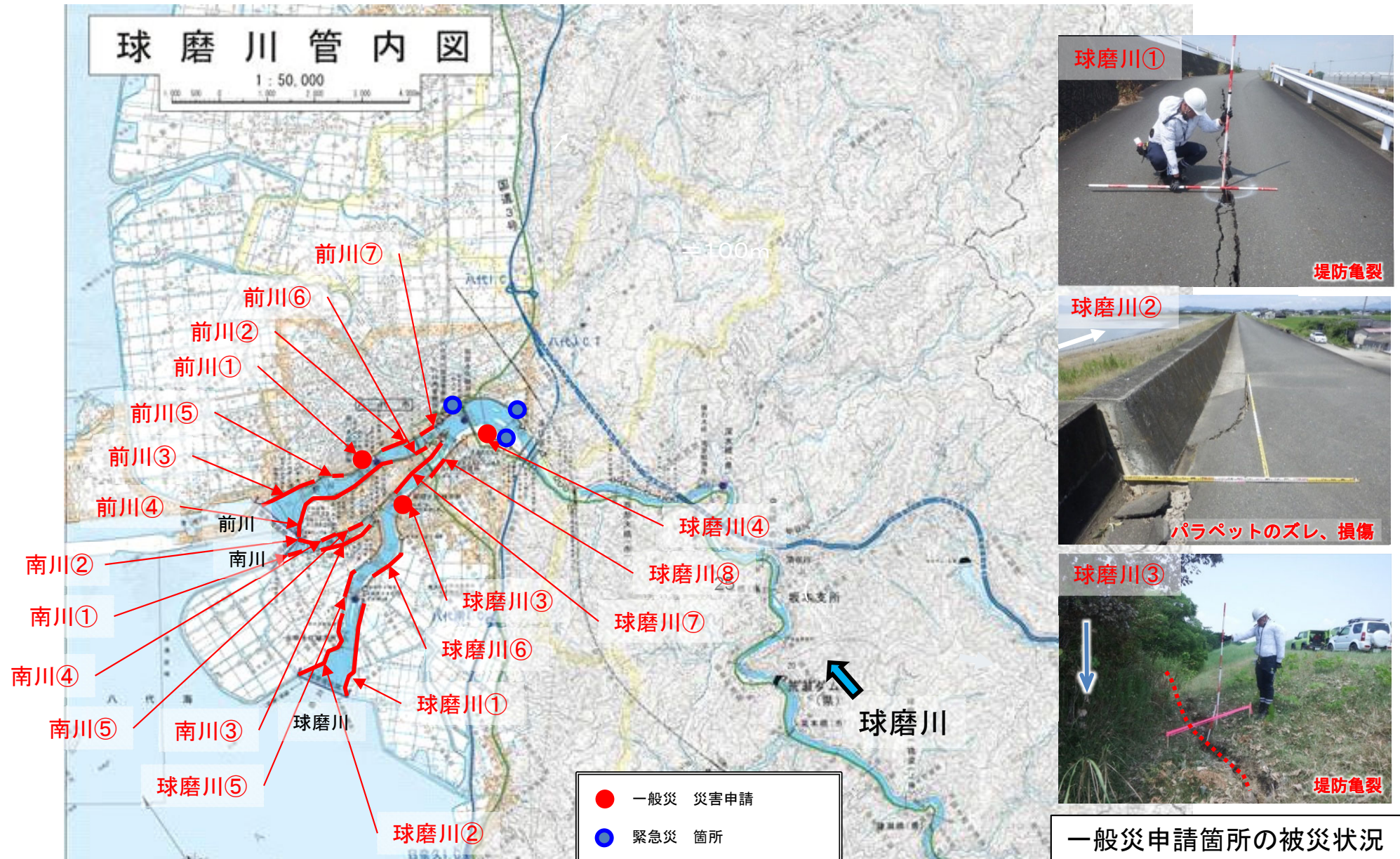
《緊急復旧後》8/7（球磨川右岸6k400）



早期復旧のため24時間体制で施工

一般災害申請箇所位置図（球磨川）

- 発災後、堤防等の緊急点検を実施し、球磨川では河川堤防等44箇所の変状を確認。このほか、広域地盤沈下を確認。
- 災害復旧事業として23件採択。このうち3件は、緊急災。緊急災箇所の本復旧工法は、堤防調査委員会で検討中。



一般災害申請箇所位置図（緑川）

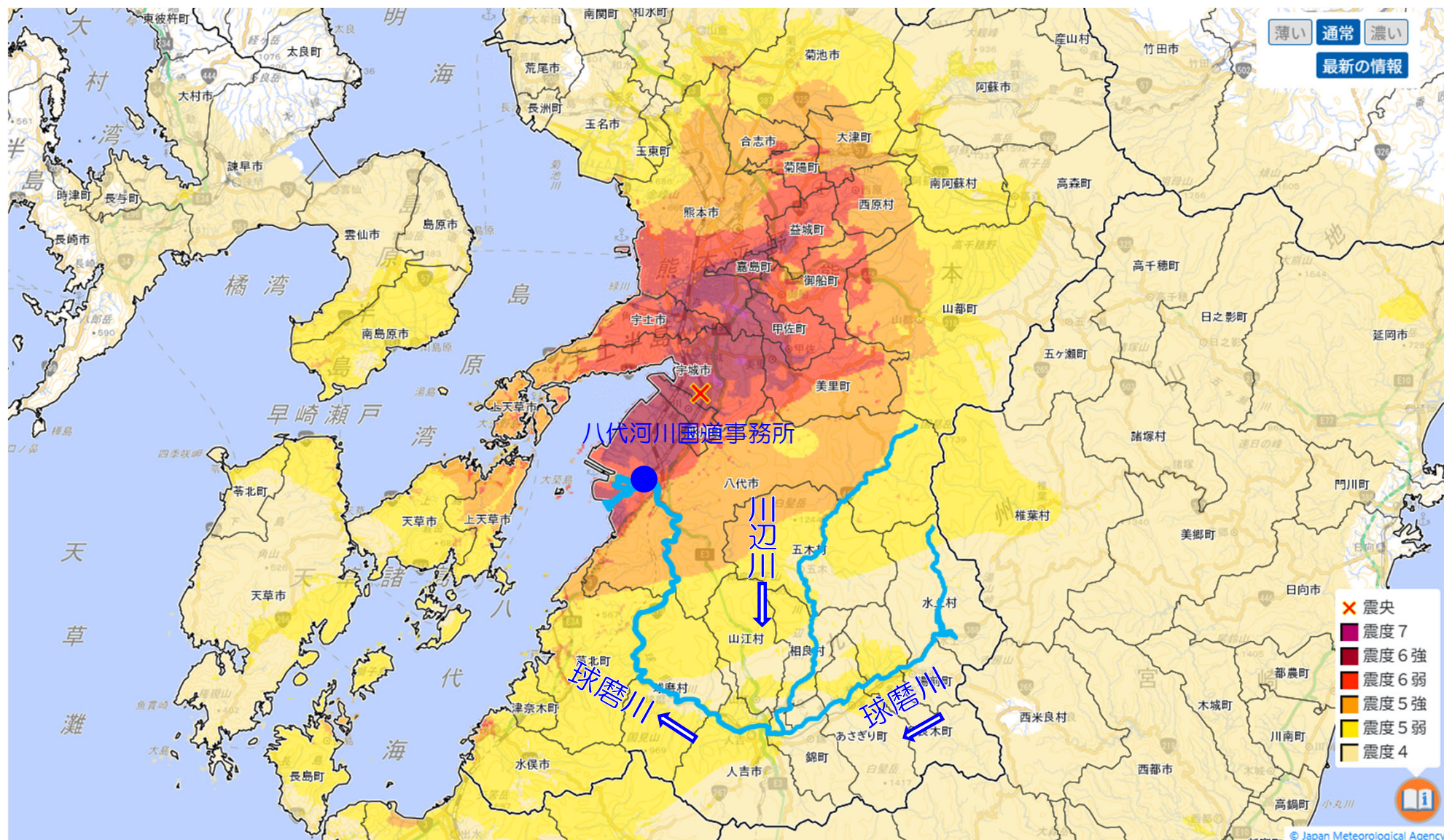
○発災後、堤防等の緊急点検を実施し、緑川では河川堤防等44箇所の変状を確認。
○災害復旧事業として21件採択。



※今後の調査により、変更になる可能性があります。

球磨川（八代河川国道事務所）における 発災後10日間の対応

- ＜推計震度分布＞

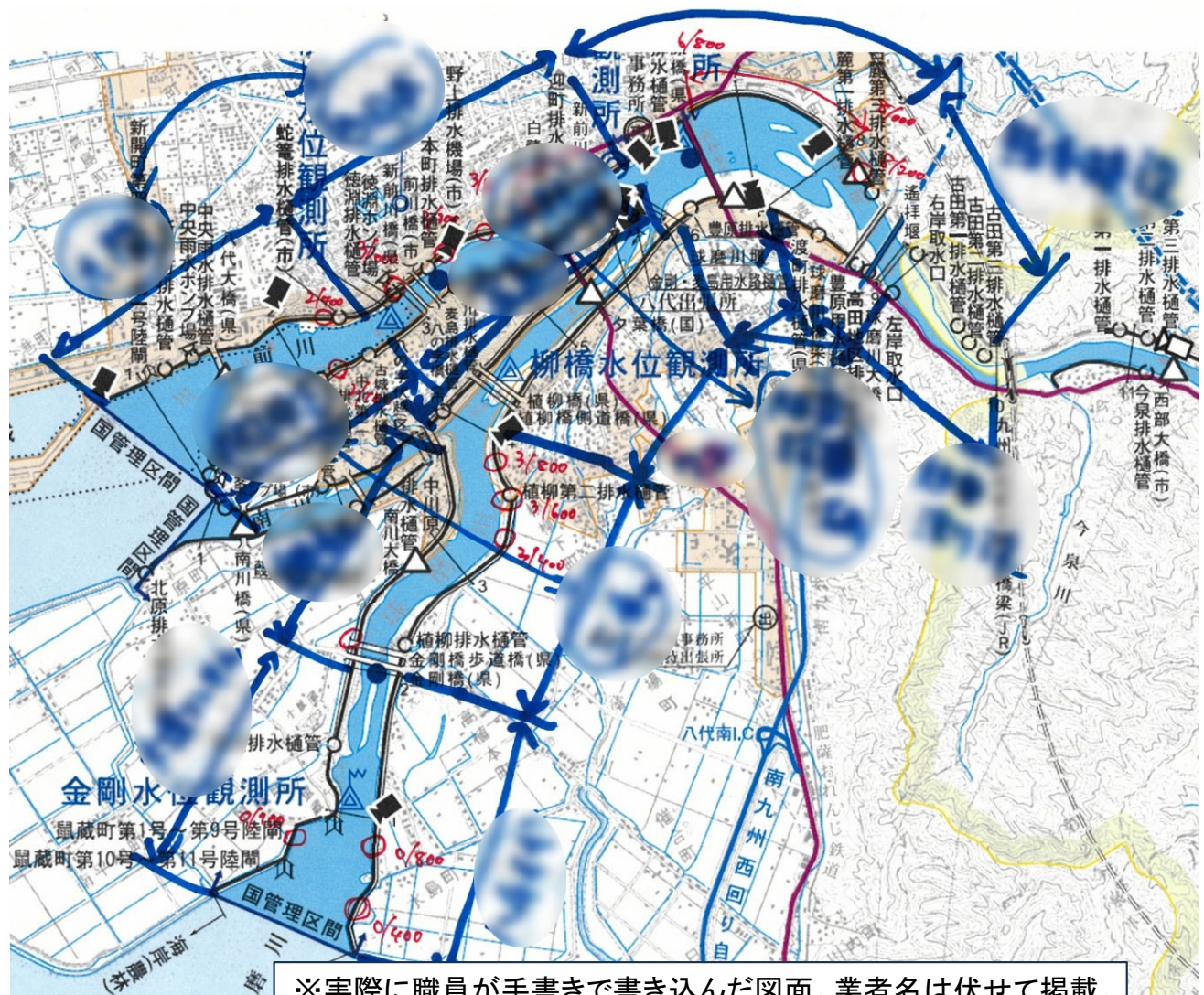


- ・ 発災直後に非常用電源を起動し「八代河川国道事務所地震災害対策支部」を設置。
- ・ 被害状況の全体像を把握するため、地震直後より職員自ら河川巡視・施設点検を実施。
- ・ 把握できた被害の状況や分布をふまえ、追加の詳細点検の範囲等を検討。

■非常用電源を起動し支部を立ち上げ



■把握した情報を元に詳細点検の範囲や点検業者の割振を決定



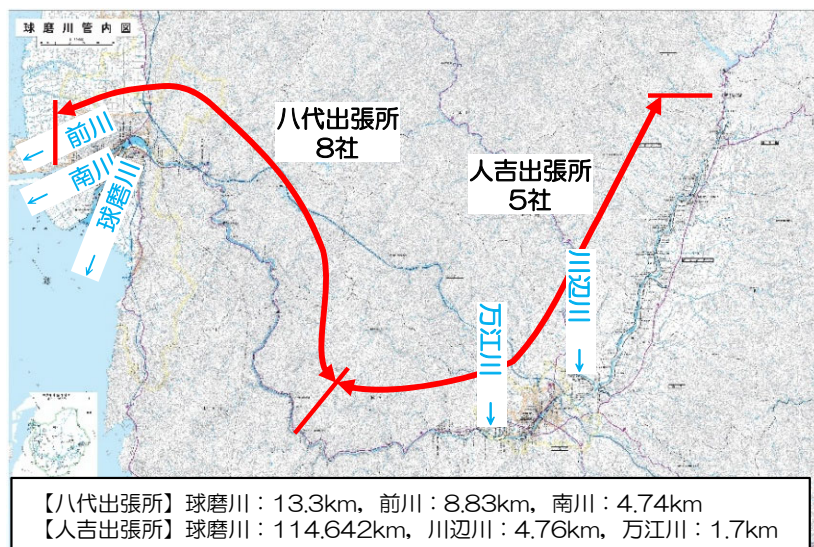
■職員による被害状況把握



※実際に職員が手書きで書き込んだ図面。業者名は伏せて掲載。

- 7月29日7時から工事の災害時協力会社13社により、球磨川全域の状況把握を実施。
- 並行して同日8時からコンサルタントの災害時協力会社14社により、前日に検討した点検範囲に基づき 堤防の緊急点検を実施。

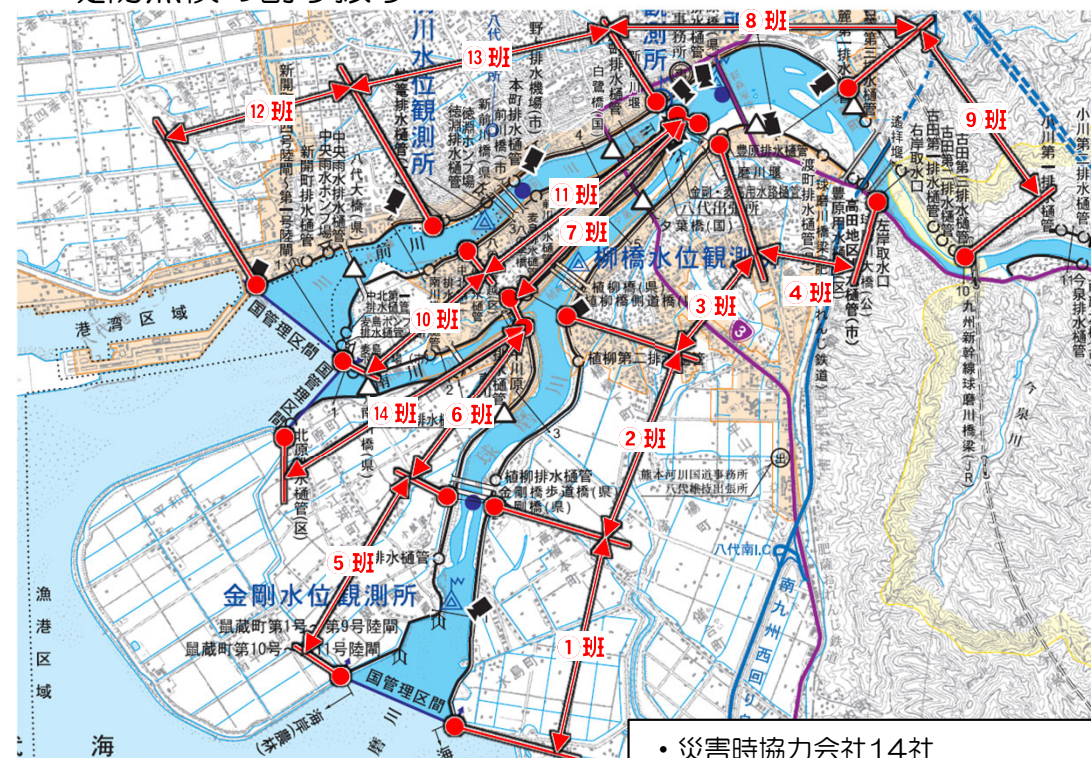
➤ 災害時協力会社による河川巡視



➤ 航空写真測量・ALB測量・地質調査等も実施



➤ 堤防点検の割り振り



・災害時協力会社14社

【巡視範囲（全延長:31.0km）】

・球磨川19.0km
 （左岸：9.0km、右岸：10.0km）

・前川 9.8km
 （左岸：4.9km、右岸：4.9km）

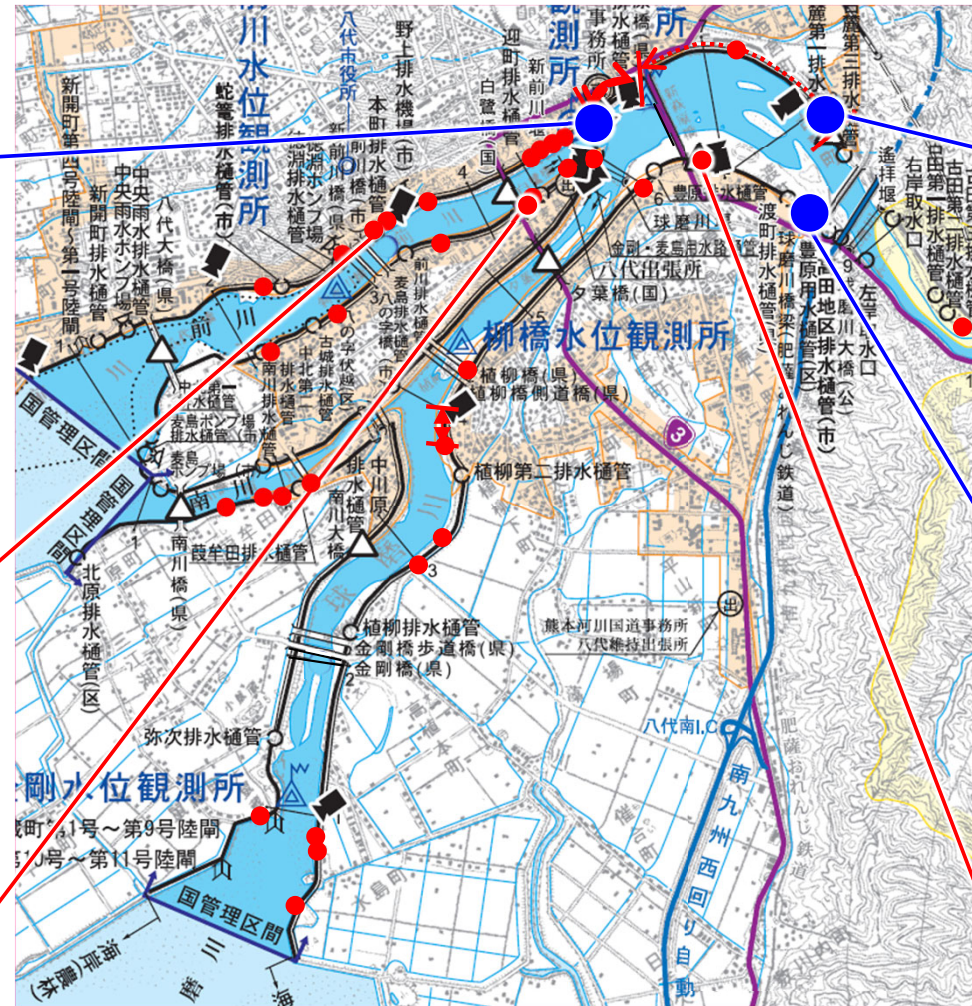
・南川 2.2km（左岸：2.2km）

※同日19時頃に調査完了

発災後26時間

- ・堤防等の緊急点検を行った結果、球磨川水系で44箇所の変状を確認（8月5日時点）。
- ・うち3箇所で緊急的な復旧工事を実施。その他の箇所についても速やかに応急対策を実施。

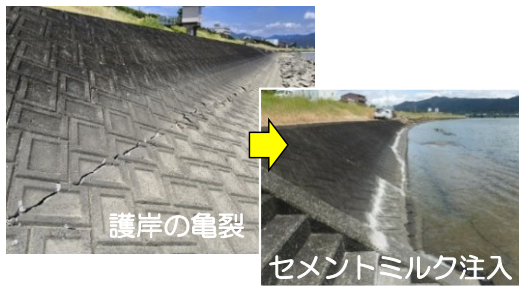
球磨川 右岸6k200付近



球磨川 右岸8k000付近



前川 右岸3k300付近



球磨川 左岸8k540付近



前川 左岸4k300付近



球磨川 左岸6k800付近



- 変状箇所
- 緊急的な復旧工事 箇所

大きな変状が確認された河川堤防（八代市萩原町地先）

球磨川水系



※除草後のヘリ調査により被災の実態をより詳細に把握



- 7月30日に河川堤防の変状が確認された箇所では土研・国総研とともに被害状況や緊急復旧の工法について確認。

➤ 打合せ



➤ クラックの深さの確認



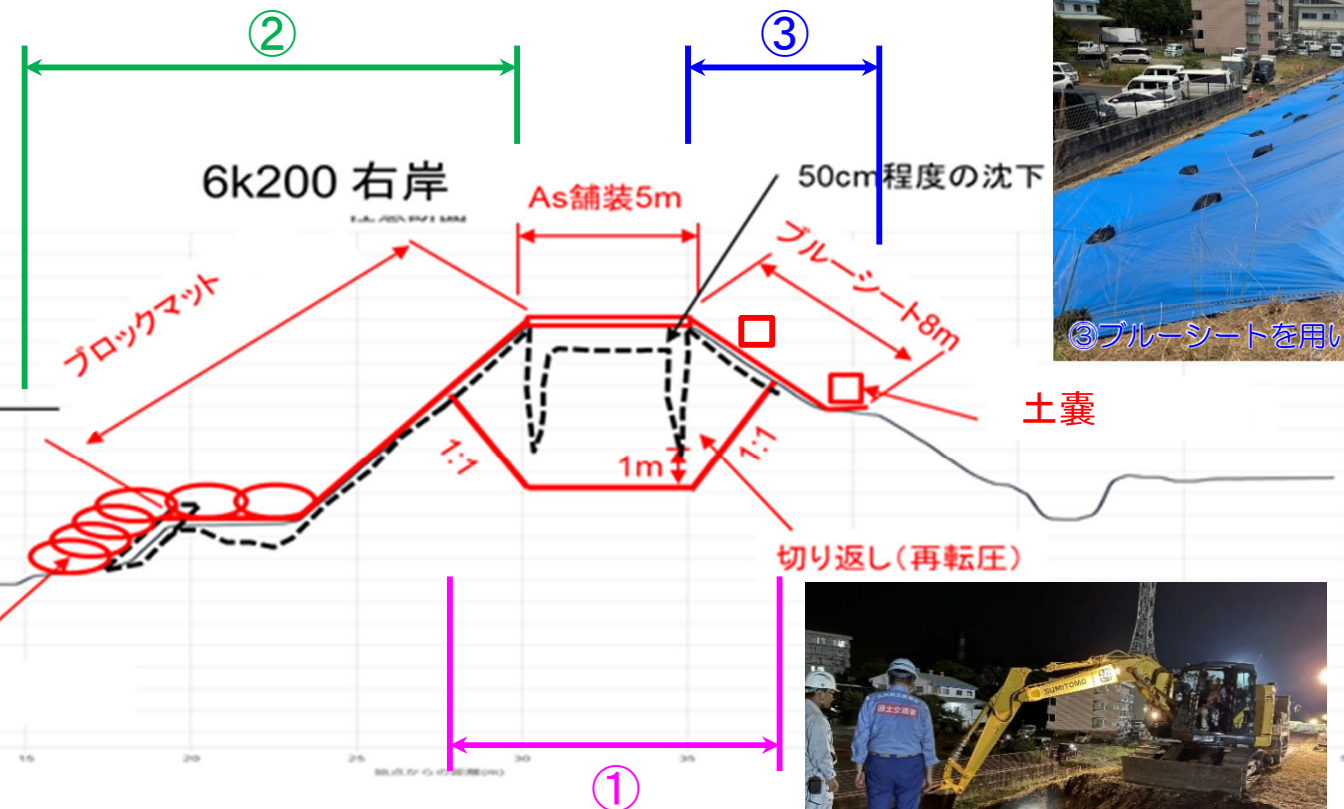
➤ 堤防変状箇所の確認



石灰水の注入による
クラックの可視化



- 出水期間中かつ台風第13号が接近していたため、短時間で緊急復旧できる工法を検討
- ①堤体：堤防の亀裂等により治水機能が確保できていないと想定される高さまで、切り返し（再転圧）。
- ②川表：洪水による洗掘・侵食防止のため、ブロックマットで保護。さらに、ブロックマットの流出防止のため、袋詰め玉石を設置。
- ③川裏：堤防内への雨水浸透を防止するため、ブルーシートで保護。



※当初の設計であり、現場条件や資材調達状況に応じて変更している

24時間体制で施工した緊急復旧工事：施工ステップ①（八代市萩原町地先） 球磨川水系



○掘削



○舗装撤去



○盛土・転圧



○ブロックマット据え付け



○舗装工



○袋詰め玉石設置



- 早期完成に向け、1日平均50名の作業員に加え、熱中症対策としてバックアップ要員を5名程度確保し、3班体制で24時間施工を実施。最大3台の照明車両を投入。
- 事務所でも24時間体制を構築し、現場管理や業者との打合せ・調整に対応。
- ブロックマットの調達が難航したため、8/1（土）に災害協定に基づき、公益社団法人全国土木コンクリートブロック協会に協力を依頼（県外から資材を調達）。
- また、袋詰め玉石や土のうの製作を別業者に協力依頼することにより施工スピードを向上。

➤ 作業状況



➤ 現場における熱中症対策



➤ 夜間施工時の様子



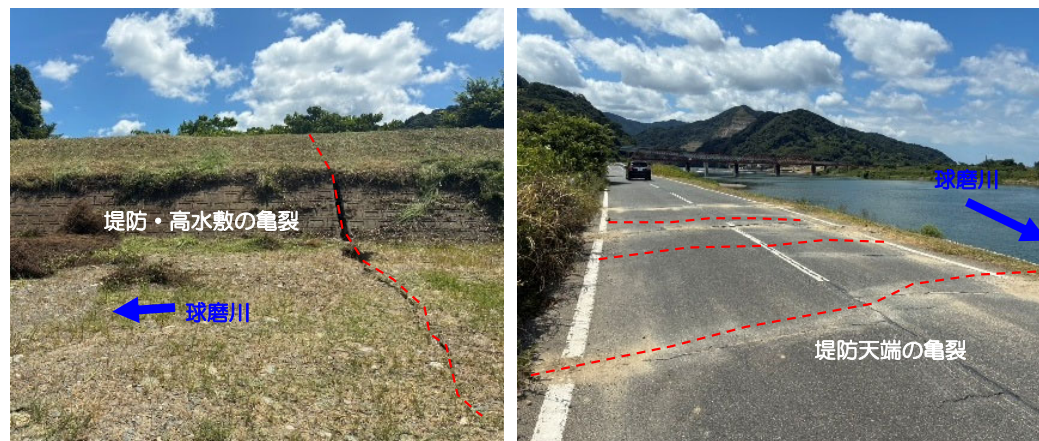
- 地震により比較的変状が大きかった他2箇所についても、24時間体制で緊急的な復旧工事を実施し、令和8年8月7日までに完了。

【被災直後】

【緊急復旧完了】

②球磨川右岸8k000～040（令和8年7月31日時点）

令和8年8月4日 12時完成（7月31日21時着手）



③球磨川左岸8k540～580（令和8年7月31日時点）

令和8年8月5日 15時完成（7月31日22時着手）

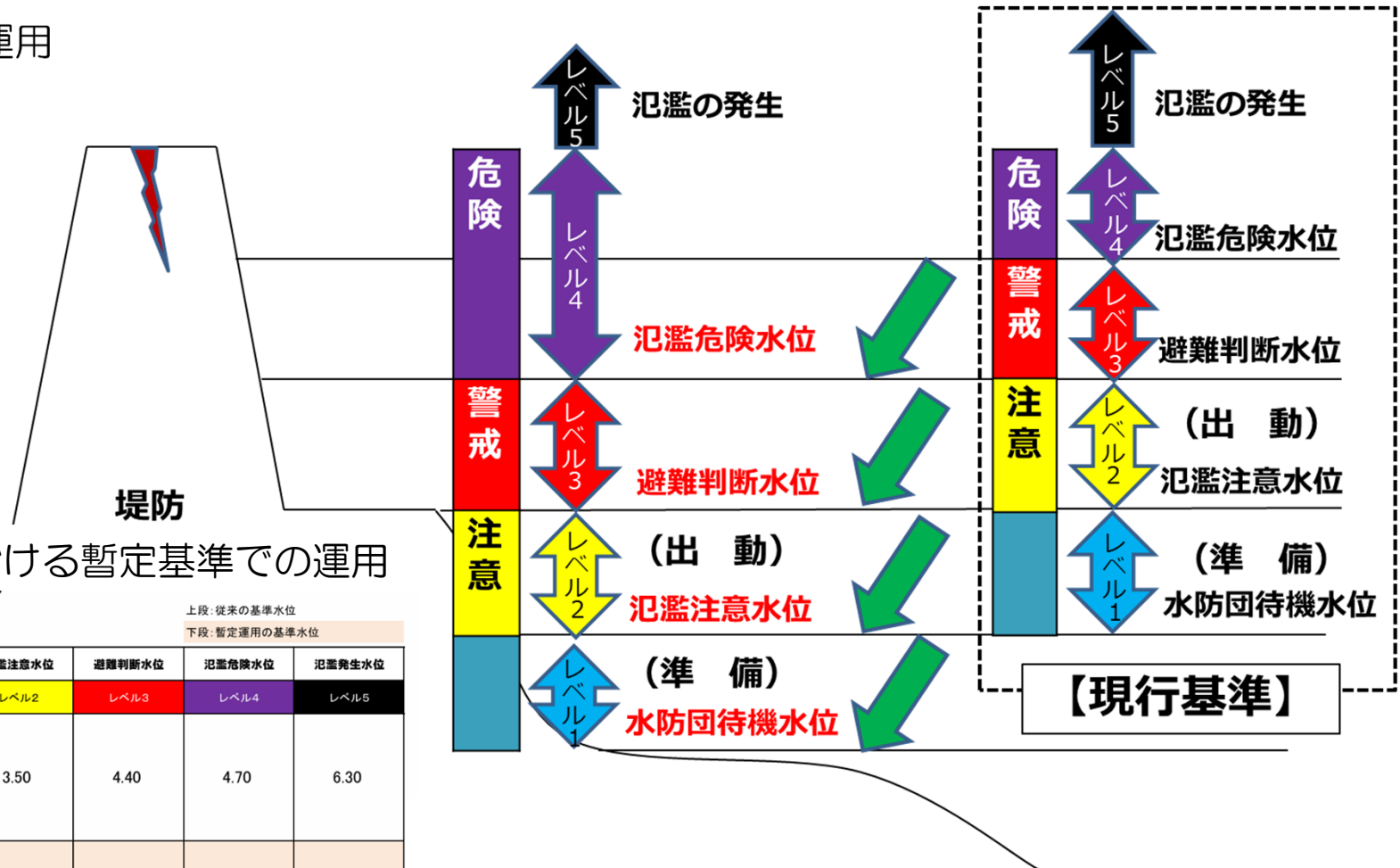


- :大きな変状箇所
●:水防資機材配備箇所



- 地震により堤防の機能が低下していることが懸念されるため、水防や洪水予報の基準となる水位を下げ、8月5日から暫定運用を開始し、早期の警戒体制を確立。
- 平常時の河川巡視頻度を増やすとともに、出水時の河川巡視を通常より早い段階で開始するなど、河川の監視体制を強化。
- 基準水位の暫定運用については、八代河川国道事務所から八代市長等にも説明を実施。

➤ 被災を踏まえた暫定運用



➤ 球磨川洪水予報等における暫定基準での運用

洪水予報・水防警報					上段：従来の基準水位 下段：暫定運用の基準水位				
水系名	予報区域名	河川名	洪水予報基準地点	水防団待機水位 レベル1	氾濫注意水位 レベル2	避難判断水位 レベル3	氾濫危険水位 レベル4	氾濫発生水位 レベル5	
球磨川	球磨川	南川 前川	萩原	2.00	3.50	4.40	4.70	6.30	
				1.60	2.00	3.50	3.80	6.30	

○球磨川堤防の緊急復旧工事について、工事状況を動画(タイムラプス)を活用し、SNSで発信。

■球磨川右岸6k200～6k450付近

国土交通省八代河川国道事務所
@mlit_yatsushiro

#令和8年熊本地震 で被災した#球磨川 右岸6k200～6k450付近の堤防の緊急復旧工事が完了しました。

工事開始から完了までの様子をショート動画で公開します。

#復旧 の歩みをぜひご覧ください。

また、3箇所の緊急復旧工事と並行して進めてきたその他箇所の応急対策も完了しました。

#八代

①着手(掘削)



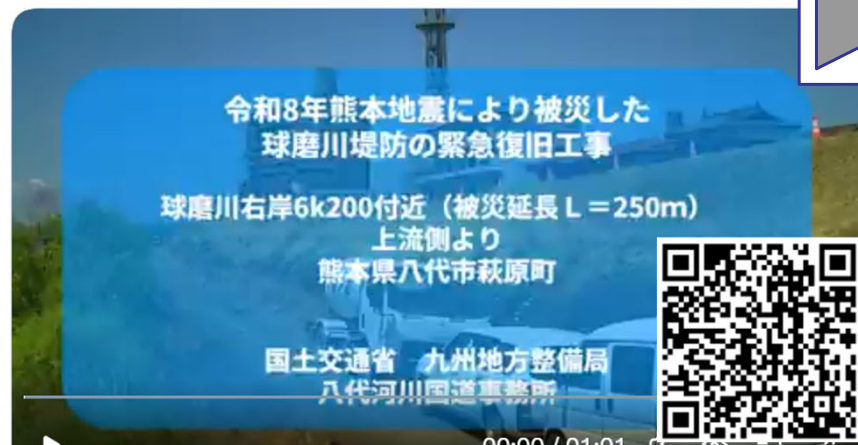
②盛土



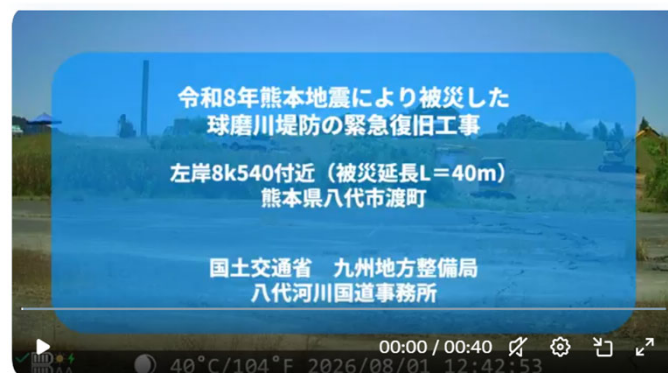
③ブロックマット
(夜間施工)



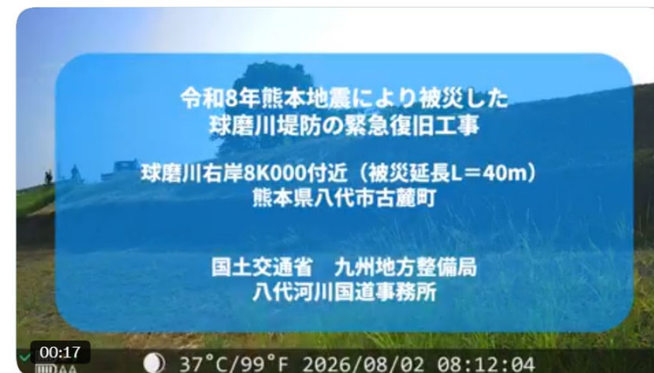
④完了



■球磨川左岸8k540付近



■球磨川右岸8k000付近



△動画(タイムラプス)を活用し工事状況を発信